

2016 年度 第 2 回 CPC 研究会

日 時: 6月24日 (金) 13:30 ~ 16:30

会 場: 連合会館 201 会議室

(〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11 TEL: 03-3253-1771)

参加費: 維持会員・大学官公庁関係 = 無料 / 非会員 = 20,000 円

<http://cpc-society.org/>

13:30 ~ 14:55

「炭化物由来炭素の物性とその応用」

住友電気工業株式会社 齋藤 崇広 氏

- 1) 炭化物由来炭素の歴史
- 2) 炭化物由来炭素の物性
- 3) 炭化物由来炭素の応用 ~ キャパシタ電極材への適用 ~
- 4) 炭化物由来炭素の普及に向けて

炭化物を塩素含有雰囲気中で熱処理すると、サブナノからナノサイズの細孔を有する多孔質の炭素材料が得られます。本材料は炭化物由来炭素と呼ばれており、細孔構造を活用した応用が期待されております。ナノ細孔を有する材料は、構造の制御性と安定性が実用上重要となります。報告では、炭化物由来炭素の物性やナノ細孔の制御性、キャパシタ電極材への応用、および天然物を原料とした炭化物由来炭素の試作評価についてお話しいたします。

15:05 ~ 16:30

「CFRP からの炭素繊維のリサイクル」

岐阜大学大学院 守富 寛 氏

- 1) CFRP 需要とリサイクル需要
- 2) 炭素繊維の回収技術
- 3) CFRI 技術 (二段階加熱プロセス)
- 4) 炭化炉特性 4.1) 樹脂熱分解 4.2) 省エネ技術
- 5) 焼成炉特性 5.1) 残留炭素燃焼 5.2) 省エネ技術
- 6) リサイクル炭素繊維利活用
- 7) 作業環境と健康影響
- 8) コンソーシアム形成

輸送エネルギーの大幅な削減のため、自動車・航空機への利用拡大が期待される炭素繊維強化プラスチック(CFRP)は、埋立処分が現状であり、炭素繊維のリサイクルが求められています。炭素繊維回収のリサイクル技術としては、熱分解法、溶解法(常圧)、流体法等があげられ、その形態としては、粉末状のミルド系、短繊維のチョップド系、長繊維があります。ここでは二段階熱処理法による長繊維のまま回収できる低コスト・省エネ技術について紹介します。

CPC 研究会 講演会事務局 行 e-mail: sec@cpc-society.org または FAX: 029-861-8712
6月24日の研究会に出席します(連合会館 201 会議室)

お名前: _____ 維持会員 非会員 大学関係
ご所属: _____
Tel: _____ Fax: _____
E-mail: _____